



～手作りのフラッグを飾り地元高校生がまちづくりに参加～



～こどもを中心とした多世代交流の拠点づくり～

令和4年度

あしたのまち・ くらしづくり活動賞 レポート募集

地域が直面するさまざまな課題を自らの手で解決して、住み良い地域社会の創造をめざし、独自の発想により全国各地で活動に取り組んでいる地域活動団体等の皆様へ
— 活動の経験や知恵などのストーリーをレポートとしてぜひお寄せください —

表彰・賞状等の贈呈(予定)

内閣総理大臣賞	1件	賞状、副賞(20万円)
内閣官房長官賞	1件	賞状、副賞(10万円)
総務大臣賞	1件	賞状、副賞(10万円)
主催者賞	5件	賞状、副賞(5万円)
振興奨励賞	20件	賞状

応募締切

令和4年
7月4日(月)

応募書類の送付先・お問い合わせ

公益財団法人あしたの日本を創る協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7大成堂ビル4階 URL <http://www.ashita.or.jp/>
TEL03-6240-0778 FAX03-6240-0779 Eメール: prize@ashita.or.jp

主催 公益財団法人あしたの日本を創る協会 読売新聞東京本社 NHK
後援(申請中) 内閣府 総務省 文部科学省 厚生労働省 全国知事会 全国市長会 全国町村会 日本商工会議所
全国商工会連合会 日本青年団協議会 一般財団法人長寿社会開発センター 一般財団法人日本宝くじ協会

募集の対象

- ①対象団体・活動期間 地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等。活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげている団体。
(※コロナ禍以前の活動も応募可能です)
- ②活動範囲 市町村地域程度まで。

応募の方法

以下の①～③の資料をEメール（prize@ashita.or.jp）でご提出ください。郵送、宅配便も可です。送付先は、あしたの日本を創る協会まで（表紙に記載）。

※応募用紙と応募レポートはできるだけWord形式でお送りください。

①応募用紙

このチラシの4ページ目にあります。または当協会ホームページからダウンロードもできます。

②応募レポート

活動内容と現在までの成果等を、2,000字程度でお書きください。

③写真

各写真の簡単な説明をつけて、5～6枚程度添付してください。

※その他（任意）

上記以外に、活動内容を補足する文書、実施記録等がある場合には、添付してお送りください。

応募対象とする地域活動例

- ①災害に強い地域づくり活動、住民同士の支えあい、地域コミュニティの維持をめざす活動、過疎化対策など。
- ②子どもの見守りや居場所づくり、子ども食堂、地域の学校との協働による子どもの健全な育成の活動など。
- ③高齢者の生きがいづくりや日常生活のサポート・ケアの充実に取り組む活動など。
- ④景観保全の活動。地域交通、公共施設の整備による快適な生活環境をつくり出す活動など。
- ⑤地域文化の振興や掘り起し、伝承する活動。地域スポーツの育成、住民の健康づくりの活動など。
- ⑥地球温暖化防止や地域循環型社会をめざす活動など。
- ⑦都市と農山漁村との交流をすすめる活動。地域資源を活かした地域産業を振興する活動など。
- ⑧食育や地域に根ざした食文化を育む活動。地産地消をすすめる活動。食品ロス削減に取り組む活動など。
- ⑨地域防犯、地域点検などによる犯罪に強いまちづくりの活動など。
- ⑩子育て支援、子育てネットワークづくり、世代間交流の活動など。
- ⑪震災復興にむけてのまちづくり活動や震災復興支援の活動など。
- ⑫コロナ禍における先駆的な地域活動など。

審査および結果の発表

学識経験者、マスコミ関係者、関係省庁等で構成される審査委員会等において審査を行います。審査結果の発表は令和4年10月（予定）に、読売新聞、NHK、あしたの日本を創る協会ホームページ等で発表します。

その他

- ①応募書類は返却できません。
- ②応募レポートの執筆者は、応募団体に所属していなくてもかまいません。
- ③応募書類は、当協会ホームページや自治会町内会情報誌「まちむら」等で紹介させていただくことがあります。

これまでに表彰された地域活動団体

「あしたのまち・くらしづくり活動賞」は、優れた地域活動をしている団体等を表彰しています。受賞団体は各地の地域づくりに大きな影響を与えてきました。いくつかの活動をご紹介します。

<内閣総理大臣賞 令和3年度>

千葉県市原市 青葉台町会協議会

高度成長期の1971年、京葉工業地帯と共に誕生した青葉台団地。2005年をピークに人口減少、市内でも最も高齢化が進む団地の一つになった。2018年の「未来を考える円卓会議」を契機に、新たに39プロジェクト（PJ）を立ち上げた。小・中・高校生を含む3,200世帯にアンケートを実施し、10年後を見据え6分野28課題に及ぶ社会的課題への挑戦を始めた。全住民参加・主導型の「団地再生」であり、SDGsとも連動した取り組みとマネジメント活動である。

<内閣官房長官賞 令和3年度>

大阪府豊中市 団楽長屋プロジェクト

乳幼児保育・学童保育・ホームサポーター派遣等、子育て支援に関わる事業をメインに、ひとり親家庭への互助的な取り組みも行う。子ども記者が地元のお店や人取材する多世代交流型ZINE『だんらんしんぶん』の発行や地域イベントへの参加など地域に根付いた活動を行う。子ども食堂や学習支援では、地域のシニア世代や学生がそれぞれの「得意」を持ち寄って主体的に関わるなど各人のエンパワメントの場や居場所となっている。

<総務大臣賞 令和3年度>

青森県八戸市 八戸市中心街 まちぐみ

アーティスト山本耕一郎を組長として2014年に発足。市民が主役になって発案した「なんか楽しそう」をまちなかに作り出す活動をしている。自分の得意なことで参加する市民集団で、ペンキ塗りや裁縫に料理、アイデア出しなど、無理なくできることをお互いが補い合いながら、「自分たちのまちは自分たちでよくしていこう」という風土づくり、意識変革、自分発見の場でもある。地域づくりとは、「一人ひとりが自分の個性を生かして地域や社会に貢献しイキイキと生きること」だと考えている。

<内閣総理大臣賞 令和2年度>

高知県日高村 特定非営利活動法人日高わのわ会

「年をとっても障がいをもってその人らしく暮らせる日高村」をミッションに「出来る人が、出来る時間に、出来ることを」仕事として続けていける場を提供している。常勤雇用、パート、大学生アルバイトが喫茶部・福祉部・販売部・総務部・児童福祉部に分かれ、それぞれの部に関係がある地域の困りごとを解決する仕事を作っている。

<内閣総理大臣賞 令和元年度>

岩手県陸前高田市 特定非営利活動法人SET

立地条件の悪い被災地に、多くの若者を誘致し、地元の中高生や住民の声を聴きながら一緒に様々なプロジェクトを企画、実践。地元住民と外部の若者との交流を通じて、「自分たちの手で人づくり・まちづくりを」という誇りをもって取り組んでいる。

<内閣総理大臣賞 平成30年度>

東京都東久留米市 氷川台自治会

自治会が空き地・空き家を地域の資源として捉え、農園、直売所やイベントで利活用。その結果、自治会加入率が増加するなど多くの波及効果をもたらした。自治会活性化の先進事例。

<内閣総理大臣賞 平成29年度>

京都府木津川市 認定NPO法人加茂女

荒廃した竹林の整備に乗り出し、竹、筍を利用した商品開発に取り組む。

令和4年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 応募用紙

ふりがな					
団体名					
団体代表者名		活動 開始年 (和暦)	年	メンバー 数	名
団体連絡先	〒 _____ 住所： いづれかに○をお付けください（ 代表者個人宅 ・ 団体事務所住所 ）				
	TEL：		FAX：		
	ホームページ				
	Eメール				
レポート執筆者名		レポート 執筆者役職			
レポート執筆者 連絡先	〒 _____ 住所：				
	TEL：		FAX：		
	Eメール				
これまでの受賞歴					
活動分野 (複数選択可)	1. 環境・エネルギー 2. 子育て支援 3. 高齢者支援 4. 世代間交流 5. 食に関わる問題 6. 健康・医療 7. まちづくり 8. 地域資源 9. 防災・防犯 10. 交通・IT 11. その他（ ）				
本賞を何でお知りになりましたか (複数選択可)	1. 読売新聞 2. NHK 3. 後援省庁・団体の出版物等 4. NPO・市民活動支援センター等 5. 募集チラシ 6. 情報誌「まちむら」 7. 当協会ホームページ 8. 当協会からの案内メール 9. その他（ ）				
活動テーマ (20字以内)					
活動の概要 (200字程度)					

※応募の際は、この応募用紙のほかに、①応募レポート（活動内容と現在までの成果等を2,000字程度にまとめたもの）と、②写真（活動の様子がわかるもの5～6枚程度）を添付してご提出ください。